



ストール生地、洋服裏地で「富士山」をモチーフに作られた



座布団カバーの生地で作られた。モデルは大月短期大学生



ベストの裏地で作られた洋服。モデルは大月短期大学生



色つきの部分が手織で織った生地になっている

イベントの様子

当日対応できるスタッフ数が少ないことから、宣伝に多くの力は注がなかった。そのこともあり、参加者は少なかったが、その分一人一人に丁寧な展示解説や郡内織物の魅力を伝えることができた。『興味がある』という心持ちから、深く知ることによって熱意のある「サポーター」になって欲しい』という目的で今年度の活動を進めていたので、その点では目的が達成できたイベントとなったように思う。

当日の様子としては、それほど忙しくなるほどの人が押し寄せることがなく、まばらに1人または友人2人で訪れる方がほとんどであった。賑わっているわけではないので、初めは戸惑った様子も見受けられたが、こちらから話しかけると、すぐに打ち解けることができた。織物の体験を目的に来る方はもちろんだが、展示のみに興味を示す方もいた。ほとんどの人は体験までして帰られた。終始和やかな雰囲気イベントが終了した。

イベントの効果

前年度までは大きなイベントとして盛大に行っていたため、何か賑わっているから、友人に誘われたからという理由で訪ねる人も多かった。今回はそういった雰囲気ではなかった分、本当に織物に興味がある学生が訪れたという印象だった。実際に尋ねてみると、やはり興味があって訪ねたと言う学生が多く、興味のある人は大きな宣伝をせずとも自ら訪ねてくるものなのだと実感した。

深く話すことができたので魅力も最大限に伝えられた。イベント後、実際に富士山駅に郡内織物を買いにいったと言う学生がいたり、一緒に活動をしたいという学生がいたり、丁寧な活動を続けていけば良さは伝わると改めて感じた。またイベントなどをお知らせするメールを配信しているが、参加したほとんどの学生がメールの受け取りを希望していたのも大きな成果だった。

展示品の効果

今回有限会社のリードさんのネクタイや山一岡部工場さんの夜具地の反物などを展示させていただいた。いただいたりお借りしたりするまでの過程を経ることで、織元さんとの関係が構築されたことが何よりの成果であった。みなさんWEAVEの活動を大変好意的に応援してくださっているの、今後も引き続きつながっていただければと思う。

また、大月短大生と協働で郡内織物をリメイクした衣装を展示した。これまで、都留文科大学内に留まっていたが、活動の裾野を広げたいという思いから今回に至った。デザイン・制作・モデルの一部を大月短期大学生にお願いしたことで、今後の活動に興味を示す学生さんも出てきた。今後、さらに活動に幅が持たせられるのではないかと考えている。

今後の課題点

興味がある人が厳選されてはいるが、昨年度も訪れたと言う学生も中にはおり、訪ねてくる人がある程度決まってきたという現状があるのも確かだ。興味のある人向けのイベントと、広く多くの人に知ってもらうためのイベントと役割を変えて、実施していく必要があると感じた。

ただし、イベントを行う際に十分なスタッフの数が確保できていない。これまでは都留文科大学生を中心とするグループとして活動していたが、門を広げ幅広い年代、立場の人が参加できるように団体となればと考えている。

目的

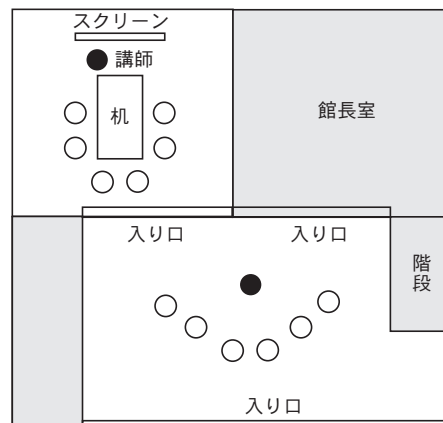
「郡内織物に興味がある」から熱意のある「サポーター」へ

すでに織物に興味がある人々に郡内織物をさらに深く知ってもらうことで、本当に応援したいという熱意のあるサポーターになってほしい。そんな思いから、毎月1回の講座と手織りで洋服を制作するプロジェクトを実行しました。少人数でゼミのようにお互いが学び合いながら進めた活動です。

実施要項

- 【場 所】 都留市商家資料館
都留市まちづくり交流センター
- 【時 間】 毎月第4日曜日定例
午前の部〔講座〕 10:30～12:00
午後の部〔織物〕 13:00～16:00
- 【参加費】 無料
- 【広報先】 ・都留市広報 ・メール配信
・facebook ・twitter
- 【参加者】 ● 都留文科大学生 1名
● 一般市民 4名

実施風景



実施内容

- ① 6月25日(日)
講座：郡内織物とは？〔WEAVEメンバー〕
織物制作：(1)概要説明と試し織り
- ② 7月23日(日)
講座：郡内織物の歴史
〔知念浩生さん(元ミュージアム都留勤務)〕
織物制作：(2)糸選びとデザイン制作
- ③ 8月20日(日)
講座：文学の中の郡内織物
〔山口恭子さん(都留文科大学国文学科非常勤講師)〕
織物制作：(3)糸選びとデザイン制作
- ④ 9月24日(日)
講座：現在の郡内織物〔天野商店訪問〕
織物制作：(4)織物制作
- ⑤ 10月22日(日)
講座：手機の進捗がよくないので講座はなし
織物製作：(5)織物制作
- ⑥ 11月26日(日)
講座：現在の織物産業の取り組み
〔秋本 梨恵さん(山梨県産業技術センター)〕
織物制作：(6)織物制作
- ⑦ 12月17日(日)
講座：手機の進捗がよくないので講座はなし
織物製作：(7)織物制作
- ⑧ 1月21日(日)
講座：手機の進捗がよくないので講座はなし
織物製作：(8)織物制作
- ⑨ 2月10日(日)
講座：手機の進捗がよくないので講座はなし
織物製作：(8)織物制作
- 講座開催のための WEAVE メンバーの事前学習
前田源商店・山一岡部工場・有限会社リード・尾
県郷土資料館・西桂町佐藤さん宅 訪問

6月ゼミ室

活動内容

- ・ WEAVE の活動説明
- ・ 郡内織物の概要説明
- ・ 武井邦夫館長による商家資料館の説明
- ・ 商家資料館の見学
- ・ 手織りコースターとポケット製作

ようす

初めは言葉数も少なかったが、昼食時頃から和気藹々とした雰囲気になった。年齢層はばらついているものの、「織物」という共通の話題を切り口に話が弾んでいるようだった。作ることが好きな方が多く、創作意欲を湧かせてくれていた。今回は織ること自体をとにかく楽しんでくださっているようで、経験者の方は様々なアドバイスをしてくださった。

参加者の声



手織り体験のようす。コースターは1枚30分程度でできてしまうが、みなさん飽きることなく何度も試行錯誤をして織っていらっしやっ

- ・ 商家資料館に初めて入って古い建築並木の庄ちゃんの細工の素晴らしさに驚きました。学生さんもよく勉強されているようで感心しました。
- ・ 武井館長の話しがためになりました。
- ・ 歴史を知ることができておもしろかったです。実際に現在作られているものを見たいと思いました。話す場所が道路に近かったので、話しが聞きづらかったので、少し場所を変えていただけると嬉しいです。コースター作りがおもしろかったです。大きいのを作りたいくなりました。

- ・ 「クラフトサークルでなく、甲斐絹のファンを増やしたい」というのがに残りました。とてもいいと思います！私も甲斐絹のファンなので、いい布を織って何か発信したいです。
- ・ 郡内織物がとてもさかんな織物地域であったことの再認識。大月でも織物があったこと。活動として形になりつつあることにとっても楽しみを感じています。若い人がもっと関わるといいですね。
- ・ 糸の組み合わせによって全くイメージでないものになりビックリおもしろかったです。集中力が必要ですね。布の貴重さが改めて感じられます！